

令和4年10月4日

発言者	発言要旨
梅津委員	<p>今朝、北朝鮮からミサイルが発射されたが、この行為は国連安保理決議に明白に違反するものであり、国際社会として許すことができないことは明白であるため、このような行為をしないよう、求めていかなければならない。</p> <p>今回発射されたミサイルにより、県内のJアラートは作動したのか。</p>
防災危機管理課長	<p>県内は警戒区域外のため、Jアラートは作動しなかった。</p>
梅津委員	<p>一部の報道において、弾道ミサイル発射に伴う警報が都内の駅構内等でも鳴っていたというのが事実か。</p>
防災危機管理課長	<p>その点については、把握していない。</p>
梅津委員	<p>今朝の事案について、知事、副知事への連絡はどのように行ったのか。</p>
防災危機管理課長	<p>午前7時29分に、緊急情報の伝達システムであるエムネットから情報を受信した段階で、知事、副知事には報告をしている。</p>
梅津委員	<p>8月18日に政府において旧統一教会問題関係省庁連絡会議を設置し、9月5日から30日までを相談集中強化期間としているが、対応状況や結果はどうか。</p>
学事文書課長	<p>政府では合同電話相談窓口を開設するとともに関係省庁における全国の既存の各相談窓口が相互に連携して集中的に対応していた。県では政府の一連の動きを踏まえ、県のホームページで政府の合同電話相談窓口の開設について県民へ周知を図ってきた。</p> <p>また、9月30日に相談集中強化期間が終了したが、結果についての情報はまだ入っていない。</p>
梅津委員	<p>本県における開運商法に関する相談件数はどうか。</p>
消費生活地域安全課長	<p>全国消費生活情報ネットワークシステムに登録されている件数では、7月末現在では2件、9月末現在では8件となっている。</p>
梅津委員	<p>消費者庁から各都道府県に対して旧統一教会関係の実態調査が行われたが、本県の状況はどうか。</p>
消費生活地域安全課長	<p>回答内容については差し控える。特定の事業者名は言えないが、宗教法人等から県に対して問い合わせがあった。</p>
梅津委員	<p>マイナンバーカード普及促進事業費の執行状況はどうか。</p>
市町村課長	<p>当該事業については、市町村が行うマイナンバーカードの交付の取組み</p>

発 言 者	発 言 要 旨
梅津委員	<p>を支援するため、近隣の複数市町村が連携し、商業施設などで出張申請受付を行う場合の運営支援事業として約 1,500 万円を計上し、また、市町村がコンビニ交付サービスを導入するためのシステム構築に係る支援として約 8,800 万円を予算化している。</p> <p>このうち、出張申請受付運営支援事業については、企画運営を行う事業者を審査、選定した後、8月上旬からテレビCM、SNS、チラシ配布などによる周知を行い、8月20日から庄内地方の商業施設を皮切りに、県内の4地域の商業施設等で9月25日までの土日祝日の計13日間にわたり、カード取得に向けた出張申請受けを行った。</p> <p>この結果、多い日には1日600人を超える申請支援などを行い、3,306人の申請に繋がった。</p> <p>また、小さなお子様を連れた家族連れの姿も見られたほか、平日、市役所等に行くことが難しく助かった等の声もあり、効果があったものと認識している。コンビニ交付サービスの導入支援については、7月までに12市町村に対して交付決定を行い、今年度中にシステムが構築される予定である。</p> <p>東北はマイナンバーカードの交付率が全国と比較して低いと聞くが、本県の現状はどうか。</p>
市町村課長	<p>東北地方における交付率は低くなっており、8月末現在で全国平均47.4%に対し、東北の中で高い順に宮城県46%、秋田県45%、本県44.2%、福島県42.2%、青森県41.7%、岩手県41%となっている。</p> <p>ただし、本県の直近の伸び率を見ると7月中の伸び率が全国5番目、8月中の伸び率は全国で2番目の伸び率となっている。第2弾のマイナポイント付与に合わせた各市町村における取得促進等の取組みが増えたことによる結果と捉えている。</p>
梅津委員	<p>国の概算要求においてデジタル田園都市国家構想交付金の採択基準にマイナンバーカードの普及状況について評価することを検討しているというが状況はどうか。</p>
やまがた幸せデジタル推進課長	<p>現在のところ、各都道府県や市町村に対する正式な説明や通知も無く、正確な情報がわからないが、本日午後から当該交付金のウェブ説明会が開催されることから、情報を確認したい。</p>
石黒委員	<p>今朝の北朝鮮のミサイル発射の件に関連した質問だが、北朝鮮のミサイル発射等に対する住民避難訓練の実施状況はどうか。</p> <p>また、避難する施設はどの程度指定されているのか。</p>
防災危機管理課長	<p>平成29年に酒田市で国との共同事業として避難訓練が実施され、550名程度が参加した。</p> <p>政府では弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を30年から中止していたが、今年から再開しており、本県でも11月に寒河江市を会場として訓練を予定している。また、万が一ミサイルが落下した際の避難の仕方や行動について政府が作成したチラシを県ホームページに掲載し、周知している。各市町村の協力を得ながら、令和4年4月1日現在で2,375施設を指定しており、県ホームページで周知している。</p>

発 言 者	発 言 要 旨
石黒委員	<p>避難施設の内訳としては、屋内施設が 1,162 施設、屋外施設が 1,213 施設である。そのうち、コンクリート造り等の堅牢な 563 施設を緊急一時避難施設として指定している。</p>
学事文書課長	<p>東北公益文科大学の公立化に向けた検討状況はどうか。</p> <p>令和 4 年度は、公立化と機能強化に係る方向性を取りまとめていく方針のもとに、年度当初から県と庄内地域 2 市 3 町間で幅広い情報共有等を含め、実務担当者よりも高いレベルでの議論を着実に進めてきたところである。5 月には、これまで公立化した他県の 10 大学の先行事例を詳細に分析した上で、県と 2 市 3 町との部長級・課長級による実務責任者協議を実施している。</p> <p>また、並行して、公立大学法人化を数多く手がけた専門的な民間企業からも意見を聴いている。4 月には総務部長が学長との意見交換を行い、5 月には理事長と面会し、庄内地域発展のための人材育成やスタートアップの必要性などの話を聴いている。</p> <p>一方で、庄内総合支庁においても、8 月上旬に東北公益文科大学の学生と地元定着をテーマとした意見交換を実施し、卒業後の進路や行政サイドの支援のあり方について意見を聴いている。</p> <p>9 月には、総務部長と 2 市 3 町の首長が個別に意見交換を行い、その中では公立化や機能強化について、地域の産業誘致にも役立つような教育内容も必要ではないか等の様々な意見があった。また、同じく 9 月に再度、実務担当者協議を実施している。</p> <p>この半年間、様々な階層で意見交換、意見聴取を重ねてきており、今後については大学の副理事長である副知事と 2 市 3 町の首長との意見交換の場の設定などを含めて、公立化に向けた議論を加速させ、論点の集約を図っていきたい。</p>
石黒委員	<p>これまでに公立化した大学の先行事例を見ると公立化後に県外の入学者が増えて、地元定着率が下がるというが、定着率に関する指標について総務部長はどう考えているのか。</p>
総務部長	<p>この半年間は公立化に向けて見えにくい、進んでないように見えるという批判があったことは承知している。それには理由があり、10 大学において公立化に伴い、地元定着率が落ちていることを確認したためである。</p> <p>また、大学を県や地元自治体の財政支援によって存続させようという議論があるが、他方で公立化して資金を出すためには地域にとってのメリットが必要である。単純に同じ町の生徒が卒業して、同じ町に就職したことをもって定着と考えるのか、或いは実際に他の地域から来て、他の地域に就職していったとしても東北公益文化大学で学んだことや先生との関係、コミュニティを持つなど、庄内地域に関する将来的なメリットをどう見るかといったところがある。実際に、2 市 3 町のトップの方々と話をしてきたが、メリットに対する認識が異なる。県行政の役割は、正確な情報提供であると考えており、関係者がしっかりと意見を述べ合う場を設定し、併せて事例検討も引き続き進めていくことが良いかと思っている。</p>
石黒委員	<p>東北公益文科大学の機能強化案として、前任の吉村学長の「これからの大学には、いわゆる防災学をメインにするような学部もあっていいのでは</p>

発 言 者	発 言 要 旨
総務部長	<p>ないか」という発言を受けて、新しい学部を作る話も過去にあった。 大学の存在意義をしっかりと形成した上で公立化に向かって欲しいと考えるがどうか。</p> <p>地元負担や定着率等の基礎的な情報を踏まえ、そこを乗り越えて、現代の産業や働き方と大学での学びをどう関連付けていくかだと思う。 公益学はSDGsの先取りだと思うが、今後ESG投資やサステナブルレポートが上場企業の義務になれば、企業の収益や経営に繋がっていく可能性があり、これが実際の卒業生の就職口に繋がってくる。 県としても様々なアイデアを出しながら、調整だけをするのではなく地元の大学や基礎自治体も含めて意見交換をし、ビジョンをもって進めていきたい。</p>